

平成五年に始まった豊平区の「花コンテスト」が、今年、十回目を迎えました。これまで、まちに彩りを添えた多くの方々が、「花の名鑑」として表彰されています。

今月は、この「花コンテスト」の歩みをたどりながら、区民の皆さんによる街並みの美化が、まちづくりを果たす役割について考えてみます。



## とよひら花ランド事業とは？

### 花いっぱいのもちを 目指して

花とふれあいのまちづくりを目指して、平成二年に始まった「とよひら花ランド事業」。区民の皆さん・企業・学校などで作る「とよひら花ランド推進協議会」と豊平区とが協力し、花を通じて地域の連帯やふるさと意識を高くしていく事業です。これまで、十年以上にわたり、次に挙げる数々の事業を展開してきました。

### きまびよまな事業で まちづくり

「花の回廊づくり」は、区内の主要道路に花を植え、まちを花の輪で包み込もうというもの。このほか、町内会の皆さんなどの協力により、歩道の街路樹への花植えも行われています。

区民のページ四ページでも、これらの事業を紹介しています。また、フラワーコンサートのお知らせも、六ページに掲載しています。



区役所駐車場横に植えられた色鮮やかなペチュニア

また、「フラワーコンサート」は、区内の小中学生が、花で彩られた舞台上で合唱・合奏を披露するものです。

さらに、区民の皆さんがデザイン段階から花壇作りに取り組み「区民の花壇」も、月寒公園内に設置しています。

今回取り上げる「花コンテスト」も、花ランド事業の一環として始まったもので、今年、十周年を迎えました。

# コンテスト 10周年



## 花コンテストの歩み

### 人の心を和ませる 美しい花

最近ではガーデニングが人気を呼んでおり、さまざまな花を楽しむ人が増えてきています。道を歩いていて、庭や建物の周囲を花で美しく飾っているのを目にすると、心が和むものです。丹精込めて育てた花を、自分で楽しむだけでなく、多くの人たちに見てもらいたいと思う方も多いのではないのでしょうか。

で、その作者に「花の名鑑」の称号を贈っています。最初の年は、十三組の方々が「花の名鑑」を受賞しました。その後、毎年、個人ばかりでなく、町内会、企業、学校、施設などから素晴らしい作品の応募があり、花によるふれあいのまちづくりは、着実に広がりをを見せています。

### 彩り豊かな街並みを

開始から昨年までの間に、「花の名鑑」を受賞した方々は、すでに七十組以上に達しています。

### 広がるふれあいの輪

道行く人からも見えるように花を植え、まちを飾っている方々の作品を広く募集する「花コンテスト」。平成五年に始まったこのコンテストでは、応募作品の中から、毎年数件を選ん

区内を花で飾り、色彩豊かな街並みをつくっている方、そして、そのような風景を区内で見かけた方、次ページをご覧ください。ぜひ応募してみたい方が多いのではないでしょうか。

### 昨年度の「花の名鑑」受賞者の作品



宇夫さん宅（月寒東5条12丁目）



中歳さん宅（西岡3条11丁目）

